伝えよう！みんなで目指すSDGｓ　『アクティビティについて』

アクティビティとは

　どちらの授業の方が、楽しく、自分で考えて理解できそうですか？

　　　A「先生の話をただ聞き続ける授業」

B「写真から読み取ったり、隣やグループで話し合ったり、議論したりする授業」

おそらく、Bですよね。アクティビティとは、まさに２つ目にあるしかけのことです。

　アクティビティ　→　内容について伝えたいことを、**体験してもらったり**、**ゲーム形式で悩ませたり**

することで、**『なるほど！』**とか**『考えよう！』**と思わせるしかけ

初級アクティビティの例

|  |  |
| --- | --- |
| クイズ | 方法：重要な情報や、伝えたいことの内容をクイズにする　　　　例）３択クイズ、○×クイズ目的：意外な答えで、情報を印象的に伝える |
| 多数決 | 方法：２、３個の選択肢を用意して、当てはまるところに手を挙げてもらう目的：人によって色々な考え方があることを体感する |
| 話し合い | 方法：となりや、数人のグループで話し合ってもらう＊制限時間や、何を考えるのかがはっきりわかることが重要目的：意見を共有したり、深めたりする |
| フォトランゲージ | 方法：写真を１枚わたして、場所や内容を予想してもらう方法　　　感想を聞くこともできる目的：内容に興味をもつ。文字よりも印象的に内容を伝える |

上級アクティビティの例

|  |  |
| --- | --- |
| ロールプレイ | 方法：何かの役をやってもらい、実際にその身になって考えてもらう目的：あなたならどうする？どう感じる？と聞く |
| プランニング | 方法：個人やグループで、何かの問題の解決方法を考えてもらう目的：あなたならどうする？と聞く |
| ランキング | 方法：重要だと思う順番に、いくつかの言葉や情報を、並びかえてもらう目的：順番をつける難しさを体感する |
| ランキングクイズ | 方法：多い順などを予想して、いくつかの言葉や情報を、並びかえてもらう目的：意外な答えで、情報を印象的に伝える |
| 見える化 | 方法：意見を決めて、当てはまる場所に名前を書いたふせんをはってもらう目的：人によって色々な考えがあることを体感する |